【授業科目】基礎看護学実習Ⅰ（病院理解）　Fundamental Nursing Practice Ⅰ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
草野 純子、久留島 実姫 中村 いお美	1年次 後期	必修	1	45	実習	あり	巻末掲載	否

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／基礎看護学実習Ⅰにおいては、看護の役割及び他職種の役割を知り、看護実践における対人関係の意義について理解を深め将来の看護師像を描くことを目指している。 そこで、基礎看護学実習Ⅰにおいては、次の学習をする。 医療が提供される臨床現場において、看護の対象の療養環境や療養生活、看護活動の実際をコミュニケーションや見学を通して学習する。また、看護を実践するもの（看護学生）として、尊厳・礼節・倫理観をもって行動することを学習する。 課題に対するフィードバック方法／提出された記録に関しては、主に口頭でコメントをする。もしくは記録にコメントを記載する。＊実務経験を持つ教員が授業を進める。
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な看護の知識や実践方法について、臨地おいて指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①　看護活動の場の１つである病院の機能・構造と役割を知ることができる。 ②　病院の医療体制と保健医療チームにおける看護の役割及び他職種の役割を知る。 ③　看護の対象となる人々の生活環境や提供される看護ケアの実際を知る。 ④　看護の対象となる人々とのコミュニケーションの場面から、対人関係の意義について考える。 ⑤　実際の看護活動に参加することで、将来の看護師像や看護学を学ぶことへの意欲を高める。
時間外学習に必要な内容・時間	※詳細については、実習要項を参照して下さい。
授業計画	・実習期間は、令和７年８月 25 日～令和７年９月５日のうち５日間 ・実習時間は、原則として、9:00 ～17:00 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時、配布資料を参照して下さい。 草野 久留島 中村
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照して下さい。
学生への助言等	１年次で学習した「看護学概論」「看護技術論Ⅰ」の知識・技術を活用し、実習を行います。 また、社会人としての１歩を踏み出す実習になります。看護学生として臨地で実習を行う意味を自覚してください。 そのため、看護学生として責任ある行動をとり、事前に学習・準備を行い、実習開始後は遅刻・欠席がないように、体調管理には十分に留意し、積極的・主体的に学んで下さい。